



壮瞥町 個別施設計画

令和 3 年11月



壮瞥町

壮瞥町 個別施設計画

目次

I 個別施設計画【公共施設】の概要

- 1. 個別施設計画策定の背景と目的----- 1
- 2. 個別施設計画策定の範囲と計画期間 ----- 3

II 公共施設を取り巻く環境

- 1. 将来の人口予測～壮瞥町人口ビジョンより----- 4
- 2. 財政状況 ----- 5
- 3. 公共施設の現状----- 7

III 施設更新の基本方針

- 1. 目指すべきまちづくりの基本方針 ----- 10
- 2. 「壮瞥町公共施設等総合管理計画」に掲げる基本方針----- 11
- 3. 個別施設の管理方針と取組の方向性----- 13

IV 各施設の方針

- 1. 対象施設の一覧----- 15
- 2. 本計画の組み立て ----- 17
- 3. 行政施設の方針----- 19
- 4. 保健福祉施設の方針 ----- 20
- 5. 社会教育施設の方針 ----- 22
- 6. 産業・観光施設の方針 ----- 24
- 7. レクリエーション施設の方針 ----- 26
- 8. 公営住宅の方針----- 30
- 9. 防災関連の方針----- 31
- 10. 環境衛生施設の方針----- 32
- 11. その他施設の方針 ----- 34

V まとめ

1. 10年後に実現する壮瞥町の姿 -----	36
2. 主要施設の方針-----	37
3. 個別施設計画の達成による財政効果 -----	39
4. 本計画の推進体制 -----	40

本文中、各表の金額は表示単位未満を四捨五入しており、端数処理の関係上合計が一致しない場合があります。

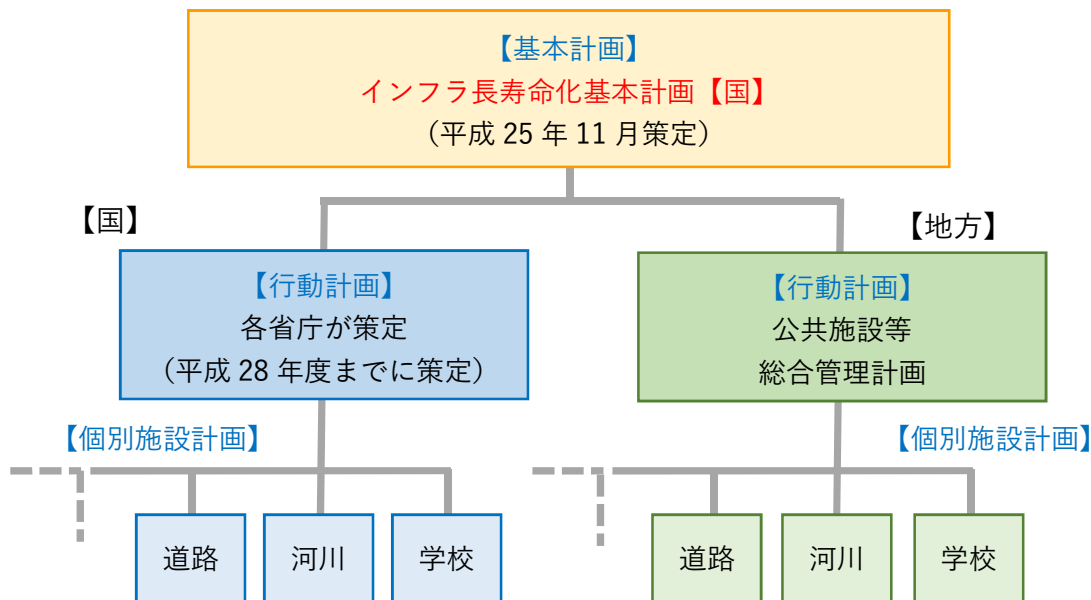
I 個別施設計画【公共施設】の概要

1. 個別施設計画策定の背景と目的

(1) 個別施設計画策定の背景

全国的に高度経済成長期に整備した公共施設の多くで老朽化が進行し、近い将来、一斉に更新時期を迎えようとしています。

国においては、平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」（インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定）を定め、インフラを管理・所管する者に対し、当該施設の維持管理費や更新を着実に推進するための行動計画、施設ごとの個別施設計画の策定が要請されています。



参考：総務省「インフラ長寿命化計画の体系」

壮瞥町においても、1970 年代後半から 1990 年代前半に、多くの公共施設を整備してきましたが、現在、これらが建築後 40 年から 50 年余りが経過し、老朽化が進行している状況です。

これら施設の老朽化に伴い住民が安心、安全に公共施設サービスを受けることに支障をきたすことが懸念されています。

今後、これらの施設が、大規模な修繕や建替えなどの更新時期を次々に迎えていくことになりますが、生産年齢人口の減少による税収の減少や高齢者の増加による社会保障経費の増加などにより、厳しい財政見通しであることから、保有するすべての公共施設を同規模のまま維持管理し、更新していくことが難しい状況となっていくと見られます。

（２）個別施設計画策定の目的

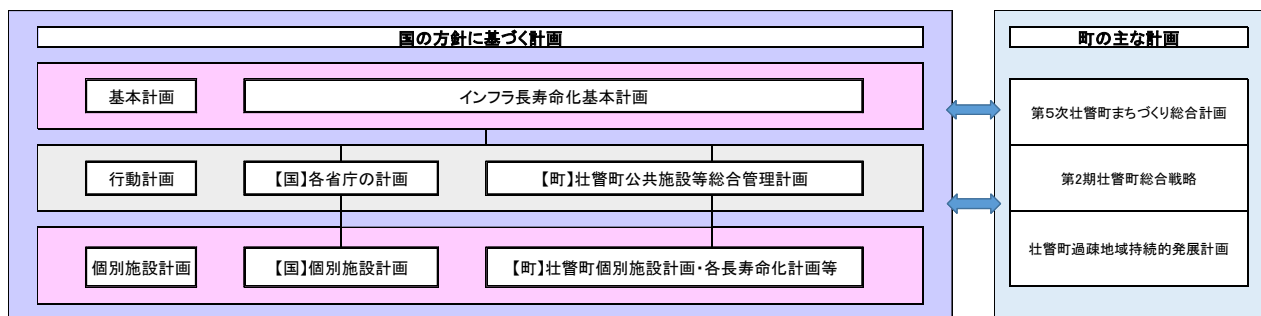
このような背景から、当町における公共施設等の適正配置や効果的・効率的な運営の方向性を示すべく、平成 29 年 3 月に公共施設等の全体像を明らかにし、長期的な視点を持って、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的として「壮瞥町公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）」を策定しました。個別施設計画は、総合管理計画に基づき施設ごとの取組方針等を示すことを目的としています。

（３）個別施設計画とその他の計画との位置づけ

当町には、まちづくりの最上位に位置付けられる「第 5 次壮瞥町まちづくり総合計画」をはじめとする各種計画があり、本計画は、これらの計画との整合を図る必要があります。

各種計画の全体像は、以下のとおりです。

■計画の全体像



2. 個別施設計画策定の範囲と計画期間

(1) 本計画における個別施設計画策定の範囲

当町はこれまでにインフラ施設を含め、各種個別施設計画（長寿命化計画）を策定しておりますが、本計画は、インフラ施設を除いた建物系のみを作成するもので、すでに計画策定されている公営住宅や学校施設、また更新費用や維持管理費用が比較的少ない 50 ㎡以下の建物（バス待合所等）を除いた個別施設計画とします。

策定済みの公営住宅や学校施設の個別施設計画（長寿命化計画）と本計画は相互に連携をとり、全体的に計画推進を図ります。

上記を踏まえ、本計画は建物を以下の施設分類に区分し、計画を作成します。

■当該計画の該当範囲

No.	施設分類	主な施設
1	行政施設	役場庁舎（信金棟を含む）
2	保健福祉施設	歯科診療所・壮瞥町保健センター、そうべつ子どもセンター等
3	社会教育施設	壮瞥町地域交流センター、遊学館、壮瞥町青少年会館等
4	産業・観光施設	そうべつ情報館（消防庁舎を含む）、立香牧場、上久保内牧場等
5	レクリエーション施設	農村環境改善センター、壮瞥町郷土史料館横綱北の湖記念館等
6	公営住宅	町有住宅（滝之町地区）、町有住宅（久保内地区）
7	防災関連施設	防災備蓄センター
8	環境衛生施設	壮瞥町火葬場、堆肥センター
9	その他施設	農業研修シェアハウス等

■すでに作成された主な個別施設計画（長寿命化計画）

- 壮瞥町橋梁長寿命化修繕計画
- 壮瞥町学校施設長寿命化計画
- 壮瞥町公営住宅等長寿命化計画
- 壮瞥町農業集落排水施設最適整備構想
- 壮瞥町林道施設長寿命化計画

(2) 計画期間

計画期間は、2022 年度（令和 4 年度）から 2031 年度（令和 13 年度）までの 10 年間とします。今後は上位・関連計画や社会経済情勢の変化などに応じて、見直しを行っていきます。

計画期間「10 年間」
2022 年度（令和 4 年度）～2031 年度（令和 13 年度）

1. 将来の人口予測 ～ 壮瞥町人口ビジョンより

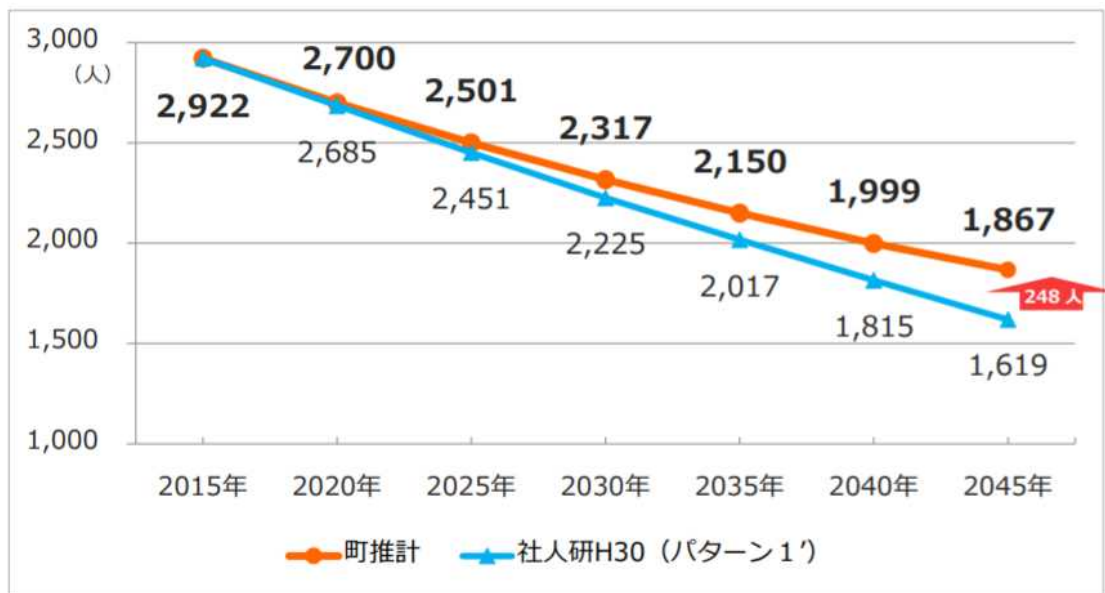
本町の人口は、鉱山の開発創業や硫化鉄鉱の生産増強等により、昭和 25（1950）年頃に 7,563 人とピークを迎えましたが、その後、鉱山の閉山や国鉄・電力会社等の合理化、農業では山間部等立地条件に恵まれない零細農家の都市部への流出等により、5 年毎に約 1,000 人減少し、昭和 50（1975）年には 4,447 人となりました。その後、本町では集落設備として鉱山地区の全戸を町の中心部に位置する滝之町地区に移転させ、また過疎対策となる施策を講じた結果、昭和 50（1975）年以降は人口減少率が鈍化し、昭和 60（1985）年頃微増に転じた時期もありましたが、産業動向や経済、情報の一極集中傾向が顕著であったバブル景気時に再び減少に転じ、その後は緩やかに減少が続いています。

第 2 期壮瞥町総合戦略における人口ビジョンの推計によると、本町の 2010 年の 3,232 人から、徐々に減少し 2045 年には 42.2%減少し、1,867 人となる見込みです。

近年の人口減少は、少子化社会を迎え出生数が死亡数を大きく下回る自然減が起き、さらに、若者の都会志向や魅力ある就業機会が少ないことによる新規学卒者の町外流出を要因とする社会減が起きたことも大きな要因となっています。

人口減少に伴い税収等も減少し施設更新の財源が乏しくなるだけでなく、通常の維持管理費用も厳しくなるため、現状の施設数や面積は削減しなければなりません。

（単位：人）



（単位：人）

（人数）	2015 年	2020 年	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年
0～14 歳	282	226	185	168	163	160	158
15～64 歳	1,402	1,218	1,104	1,008	928	832	776
65 歳以上	1,238	1,256	1,212	1,141	1,059	1,007	933
総人口	2,922	2,700	2,501	2,317	2,150	1,999	1,867

年少人口：14 歳以下

生産年齢人口：15～64 歳

高齢人口：65 歳以上

2.財政状況と投資可能限度額の試算

(1) 歳入歳出の実績

10年前と比較した歳入・歳出の傾向は以下の通りです。

①歳入は13.4%増加

地方税は2.8%減少、地方交付税は5.6%減少、地方特例交付金等が増加

②歳出は13.9%増加

人件費は1.3%増加、維持補修費25.7%増加、繰出金は9.5%減少、投資的経費は48.4%増加

■歳入歳出決算書

(単位：百万円、%)

科 目			2010 度	2019 年度	増 減	2010 対比 (%)
歳 入	一般財源	地方税	412	401	△11	97.3%
		地方交付税	1,795	1,694	△101	94.4%
		その他	106	115	9	108.5%
		合 計	2,313	2,209	△104	95.5%
	国庫支出金		395	279	△116	70.6%
	道支出金		380	579	199	152.4%
	使用料・手数料		114	121	7	106.1%
	分担金・負担金		3	2	△1	66.7%
	繰入金		45	218	173	484.4%
	地方債		237	524	287	221.1%
歳 出	その他		201	249	48	123.9%
	歳入合計		3,689	4,182	493	113.4%
	義務的 経 費	人件費	681	690	9	101.3%
		扶助費	156	204	48	130.8%
		元利償還金	514	508	△6	98.8%
		合 計	0	21	21	-
	物件費		473	519	46	109.7%
	維持補修費		68	110	42	161.8%
	補助費等		376	472	96	125.5%
	繰出金		365	331	△34	90.7%
	積立金		210	141	△69	67.1%
歳 出	投資的経費		707	1,049	342	148.4%
	その他		1	1	0	100.0%
	歳出合計		3,552	4,045	493	113.9%

※百万円単位で四捨五入のため合計数値等が一致しない場合があります。

(2) 地方税、地方交付税等の推移

次に、地方税、地方交付税等をみてみます。

10 年前に比べ、地方税は、1,100 万円、地方交付税は 1,010 万円減少しています。

その他（地方譲与税等）については、消費税率の改定などにより交付金が増加しています。

■年度別地方交付税等の推移

(単位：百万円)

年 度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
地 方 税	412	396	394	400	400	414	413	413	399	401
地方交付税	1,795	1,785	1,905	1,934	1,885	1,916	1,827	1,759	1,682	1,694
そ の 他	106	100	90	91	89	117	108	114	114	115
合 計	2,313	2,281	2,390	2,425	2,373	2,447	2,347	2,286	2,196	2,209

(3) 地方債残高の推移

地方債残高は減少、増加を繰り返しており、この 10 年で 17 億 396 百万円減少し、2019 年度残高は 36 億 10 百万円となっています。

住民一人当たりの地方債残高では、2010 年の 1,855 千円が、2019 年度では 1,434 千円と、減少しています。

■年度別地方債残高の推移

年 度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
人 口 (人)	2,884	2,800	2,766	2,751	2,705	2,922	2,647	2,601	2,513	2,517
地方債 (百万円)	5,350	5,072	4,871	4,525	4,319	4,269	4,066	3,843	3,594	3,610
増 減 (百万円)	-	△278	△201	△346	△206	△50	△203	△223	△249	16
一人当たり 残高(千円)	1,855	1,811	1,761	1,645	1,597	1,461	1,536	1,478	1,430	1,434

4. 公共施設の現状

(1) 現在の公共施設の概要

■2020年3月31日現在の施設分類別、施設数と総面積

施設分類	施設数	総面積 (㎡)
行政施設	1	1,767.35
保健福祉施設	4	3,726.20
社会教育施設	7	4,042.77
産業・観光施設	5	1,728.99
レクリエーション施設	13	6,350.52
公営住宅	2	2,412.84
防災関連施設	1	640.00
環境衛生施設	2	2,456.56
その他の施設	3	586.45
合計	38	23,711.68

これまでに、当町では人口増加や行政需要に対応して、庁舎などの公共公共施設を建設し、町民の生活基盤、地域コミュニティの拠点などとして大きな役割を果たしてきました。

(単位：棟)

施設分類	～1969年	1970～79年	1980～89年	1990～99年	2000～09年	2010～19年	2020年以降	合計
行政施設	0	0	0	0	1	0	0	1
保健福祉施設	1	1	0	1	1	0	0	4
社会教育施設	2	3	0	1	1	0	0	7
産業・観光施設	0	2	1	1	1	0	0	5
レクリエーション施設	0	0	3	8	2	0	0	13
公営住宅	1	1	0	0	0	0	0	2
防災関連施設	0	0	0	0	1	0	0	1
環境衛生施設	1	0	0	0	1	0	0	2
その他の施設	0	0	1	1	0	1	0	3
合計	5	7	5	12	8	1	0	38

本計画の対象公共施設は38施設ありますが、年代別の建設棟数をみると1990年代から2000年代までの建設が多く、1990年代が最も多い12施設(31.6%)、次いで2000年代が8施設(21.1%)、となっています。

施設分類別にみると最も数が多いレクリエーション施設は1980年代3施設、1990年代に8施設建設してきました。

（２）過去の人口推移と投資実績

■過去の投資実績

	1960 ～69 年	1970 ～79 年	1980 ～89 年	1990 ～99 年	2000 ～09 年	2010 ～19 年	合 計
人口（各年代の中間年における人口）	6,311	4,447	4,343	3,866	3,473	2,922	25,362
投資額（百万円）	145	255	338	1,510	2,104	22	4,374
住民一人当たりの投資額（千円）	23	57	78	390	606	8	1,162
建築面積（㎡）	1,364.77	2,152.59	1,675.13	4,364.51	10,455.5	27.00	20,040
住民一人当たりの建物面積（㎡）	0.22	0.48	0.39	1.13	3.01	0.01	5

本計画対象施設におけるこれまでの投資額は総額約 43.7 億円です。

年代別にみると、2000 年代が最も多く 21.0 億円、次いで 1990 年代の 15.1 億円となっています。今後、人口減少により、地方債の償還や維持補修等のコスト負担が重くのしかかってくることになります。

（３）施設別の利用者数と 1 人当たりのコスト

利用人数が把握できる施設について、過去 4 年の年間平均の維持管理コスト、延べ利用人数から利用者一人当たりのコストを分析しました。

■施設別年間利用者数と利用者一人当たりのコスト

単位：維持管理コスト：円 利用者数：人 1 人当りコスト：円

分 類	No.	施 設 名	維持管理 コスト	延べ年間 利用者数	1 人当り コスト
行政施設	1	役場庁舎（信金棟を含む）	13,832,984	—	—
保健福祉施設	2	歯科診療所・壮瞥町保健 センター	14,516,713	5,250	2,765
	3	そうべつ子どもセンター	22,200,785	—	—
	4	旧久保内保育所	—	—	—
	5	福祉交流センター（訓練室）	7,517,550	1,669	4,504
社会教育施設	6	壮瞥町地域交流センター	4,757,260	13,118	363
	7	遊学館	890,031	4,103	217
	8	壮瞥町青少年会館	363,140	1,499	242
	9	紫明苑	25,293	—	—
	10	仲洞爺公民館	24,465	—	—
	11	壮瞥町図書分室	55,886	410	136
	12	壮瞥町民プール更衣室	15,886	1,639	10

分 類	No.	施 設 名	維持管理 コスト	延べ年間 利用者数	1 人当り コスト
産業・ 観光施設	13	そうべつ情報館 (消防庁舎を含む)	13,546,260	330,892	41
	14	立香牧場	1,287,935	1	1,287,935
	15	幸内ハウス団地管理棟	11,880	—	—
	16	上久保内牧場	1,396,599	7	199,514
	17	昭和新山トイレ (熊牧場)	911,499	—	—
レクリエーション施設	18	農村環境改善センター	1,253,651	—	—
	19	仲洞爺キャンプ場	4,936,705	24,943	198
	20	立香ふれあいセンター	530,343	324	1,637
	21	ゆーあいの家	1,832,783	5,989	306
	22	蟠溪ふれあいセンター	2,880,952	3,991	722
	23	研修センター	964,008	187	5,155
	24	久保内ふれあいセンター	3,005,199	14,290	210
	25	森と木の里センター	3,124,664	1,392	2,245
	26	壮瞥町郷土史料館横綱北の湖 記念館	5,626,466	6,054	929
	27	滝之町小公園トイレ	448,318	—	—
	28	弁景地域間交流拠点施設	6,214,517	41,215	151
	29	久保内公衆トイレ	375,007	—	—
	30	健康広場トイレ	40,120	—	—
公営住宅	31	町有住宅 (滝之町地区)	573,066	—	—
	32	町有住宅 (久保内地区)	622,298	—	—
防災関連施設	33	防災備蓄センター	16,406	—	—
環境衛生施設	34	壮瞥町火葬場	309,146	21	14,721
	35	堆肥センター	26,942,600	—	—
その他の施設	36	壮瞥町農業研修シェアハウス	163,048	4	40,762
	37	地デジ局舎	1,177,301	—	—
	38	壮瞥町重機格納庫	96,206	—	—

1. 目指すべきまちづくりの基本方針

当町の総合戦略の趣旨を踏まえ、人口減少という直面する危機に向き合い、その克服に向けた対策を継続的に進めていくためには、効率的な少子化対策や地域資源を活用した産業・雇用の場を創出するほか、町民が安心して子どもを育て、壮瞥町に住み続けたいという希望を叶えるための生活環境の整備等の取組を実践することが重要です。

必要な施設等については整備を実施するとともに、定期的に管理状況を評価するなどし、公共施設等の建設や大規模改修、長寿命化改修、統廃合を実施します。維持する公共施設等に対しては、定期的に劣化度・利用度・コスト等の評価を実施し、評価結果・社会情勢の変化等に応じて個別計画を見直します。

基本方針 持続可能なまちづくりの実現

- 公共施設等マネジメント組織体制の構築
- 住民ニーズへの適切な対応と人口減少を見据えた整備更新
- 指定管理者制度、民間活力（PPP、PFI）の活用によるコスト縮減
- 財政との連携体制の構築

2. 「壮瞥町公共施設等総合管理計画」に掲げる基本方針

長寿命化を積極的に推進しても、いずれ寿命がやってきます。更新（建替え）を考える際に考慮すべきことは下記の通りです。これらを検討して、必要なものについては、更新を行うものとします。

- ① さらに長寿命化できないか（施設状態の点検）。
- ② 複合施設にできないか（他の建物に同居できないか、他の施設を取り込めないか）。
- ③ 施設の事業（ソフト面）が、今後も長期間にわたりニーズがあるかどうか検討。
- ④ 法規面で問題はないか（用途地域など）。
- ⑤ 更新によって維持管理経費がどの程度縮減できるか試算

■用途廃止施設の方針

- ① 使用できない建物は解体する（管理費用の縮減と防犯リスク低減）。
- ② 敷地については、売却や、他の施設の移転先として活用できないか検討する。
- ③ 使用可能な建物は、用途変更、売却、解体、現状維持などを比較検討する。

■供給に関する方針

●機能の複合化等による効率的な施設配置

老朽化が著しいが、町民サービスを行う上で廃止できない施設については、周辺施設の立地状況を踏まえながら、機能の複合化や更新等により、効率的な施設配置及び町民ニーズの変化への対応を図ります。

●施設総量の適正化

町民ニーズや上位・関連計画、政策との整合性、費用対効果を踏まえながら、人口減少や厳しい財政状況を勘案し、必要なサービス水準を確保しつつ、施設総量の適正化（縮減）を図ります。

■品質に関する方針

●予防保全の推進

日常点検、定期点検を実施し、劣化状況の把握に努めるとともに、点検結果を踏まえた修繕や改修の実施により予防保全に努めます。

●計画的な長寿命化の推進

建築後長期間経過した施設については、大規模改修の検討と併せ、耐震化を推進すると共に、長期的な視点に立って、計画的な点検の実施や維持管理を推進し、必要に応じて施設の長寿命化を図ります。

■財務に関する方針

●長期的費用の縮減と平準化

改修・更新等の費用の縮減と更新時期の集中化を避けることにより、歳出予算の縮減と平準化を図ります。

●維持管理費用の適正化

現状の維持管理にかかる費用や業務内容を分析し、維持管理費用や施設使用料等の適正化を図ります。

●民間活力の導入

PPP や PFI などの手法が活用できる場合は、施設の整備や管理・運営における官民の連携を図り、財政負担の軽減と行政サービスの維持・向上を図ります。

3. 個別施設の管理方針と取組の方向性

■施設管理方針

- | | |
|--------------------|--------------|
| ① 点検・診断等の実施方針 | ④ 耐震化の実施方針 |
| ② 維持管理・修繕・更新等の実施方針 | ⑤ 長寿命化の実施方針 |
| ③ 安全確保の実施方針 | ⑥ 統合や廃止の推進方針 |

当町における、今後の施設管理方針は上記の6つになります。

① 点検・診断等の実施方針

日常点検と定期点検・臨時点検を実施し、点検履歴の記録は老朽化対策等に活かします。そして施設については定期的に施設診断を行うよう努めます。

② 維持管理・修繕・更新等の実施方針

維持管理および修繕を計画的・効率的に行うことにより、維持管理費、修繕費を平準化し、建物に掛かるトータルコストを縮減します。

③ 安全確保の実施方針

安全確保の方針として重要な評価項目で危険性が認められた施設については、評価の内容に沿って安全確保の改修を実施します。施設によっては総合的な判断により改修せずに、用途廃止を検討します。

④ 耐震化の実施方針

主要な施設は、新耐震基準を満たしているか、耐震化済みであり、基準に満たない（昭和56年以前）施設については、建替え予定を除き、今後、用途廃止（除却）を検討していきます。

⑤ 長寿命化の実施方針

総合的かつ計画的な管理に基づいた予防保全によって、公共施設等の長期使用を図ります。個別に長寿命化計画等が策定されている場合はそれに準拠します。建替え周期は大規模改修を経て60年とし、更に使用が可能であれば長寿命化改修を行って80年まで長期使用します。

⑥ 統合や廃止の推進方法

統合や廃止の推進として、危険性の高い施設や老朽化が著しい施設については、施設の統廃合及び用途廃止に伴う住民サービスの水準低下を最小限にするための可能性を検討します。

■個別施設 更新・長寿命化・統廃合等のイメージ

取組方法	取組のイメージ
①更新 老朽化が進んだ施設を建て替えること。原則として、床面積は縮小する。	A施設 機能① → 建替え → 新A施設 機能① 床面積 $A > \text{新} A$
②長寿命化 耐用年数を超えて使用できるよう大規模改修すること。	A施設 耐用年数 50 年 → 大規模改修 → A施設 50 年+α
③複合化・多機能化 一つの施設の異なる複数の機能を保有させることにより、運用や維持管理の効率化を図ること。 複数の機能を保有した施設を新設する方法と既存の施設に機能を移管する方法がある。施設を新設する場合は、複合化する施設の床面積の合計より縮小することを原則としている。	A施設 機能① → 機能① → 新設D施設 機能① 機能② 機能③ B施設 機能② → 機能② C施設 機能③ → 機能③ 床面積 $A + B + C > D$ 【複合化】 ※ A施設、B施設、C施設は他に用途がない場合は廃止 A施設 機能① + 機能② 機能③ ← 機能② ← B施設 機能② ← 機能③ ← C施設 機能③ 【多機能化】 ※ B施設、C施設は他に用途がない場合は廃止
④統廃合 余剰施設を同じ機能の施設に統合することにより、保有量を最適化すること。	A施設 機能① ← 機能① ← B施設 機能① ※ 余剰 B施設は他に用途がない場合は廃止
⑤用途変更 機能を廃止し、新たな機能を保有させること。	A施設 機能① → 機能①⇒機能② → A施設 機能②
⑥譲渡 地域や民間に現状有姿で譲渡すること。	公共 A 施設 → 譲渡 → 民間 A 施設

IV 各施設の方針

1. 対象施設の一覧

本計画の対象とする公共施設は以下のとおり 38 施設となります。なお、延べ床面積は 2020 年 3 月末現在の数値です。

分 類	No.	施 設 名	延床面積 (㎡)	取得 年度	耐用 年数	経過 年数
行政施設	1	役場庁舎（信金棟を含む）	1,767.35	2008	50	12
保健福祉施設	2	歯科診療所・壮瞥町保健センター	968.70	1997	50	23
	3	そうべつ子どもセンター	1,482.27	2009	47	11
	4	旧久保内保育所	500.98	1969	34	51
	5	福祉交流センター（訓練室）	774.25	1971	34	49
社会教育施設	6	壮瞥町地域交流センター	1,992.91	2008	47	12
	7	遊学館	662.42	1968	47	52
	8	壮瞥町青少年会館	700.99	1970	34	50
	9	紫明苑	75.20	1967	22	53
	10	仲洞爺公民館	118.18	1979	24	41
	11	壮瞥町図書分室	455.85	1970	50	50
	12	壮瞥町民プール更衣室	37.22	1998	22	22
産業・観光施設	13	そうべつ情報館（消防庁舎を含む）	1,453.78	2007	50	13
	14	立香牧場	54.54	1975	24	45
	15	幸内ハウス団地管理棟	99.17	1978	38	42
	16	上久保内牧場	49.58	1985	38	35
	17	昭和新山トイレ（熊牧場）	71.92	1991	34	29
レクリエーション施設	18	農村環境改善センター	971.79	1992	47	28
	19	仲洞爺キャンプ場	573.64	1998	24	22
	20	立香ふれあいセンター	473.38	1989	34	31
	21	ゆーあいの家	796.96	1989	47	31
	22	蟠溪ふれあいセンター	498.98	1991	15	29
	23	研修センター	492.48	1991	15	29
	24	久保内ふれあいセンター	246.89	1992	22	28
	25	森と木の里センター	504.55	1993	15	27
	26	壮瞥町郷土史料館横綱北の湖記念館	871.76	1990	38	30

分 類	No.	施 設 名	延床面積 (㎡)	取得 年度	耐用 年数	経過 年数
レクリエーション施設	27	滝之町小公園トイレ	16.10	1997	38	23
	28	弁景地域間交流拠点施設	872.08	2002	13	18
	29	久保内公衆トイレ	23.92	1988	34	32
	30	健康広場トイレ	7.99	2009	38	11
公営住宅	31	町有住宅（滝之町地区）	1,137.56	1966	34	54
	32	町有住宅（久保内地区）	1,275.28	1972	22	48
防災関連施設	33	防災備蓄センター	640.00	2000	31	20
環境衛生施設	34	壮瞥町火葬場	73.96	1969	50	51
	35	堆肥センター	2,382.60	2004	31	16
その他の施設	36	壮瞥町農業研修シェアハウス	331.29	1989	24	31
	37	地デジ局舎	27.00	2010	38	10
	38	壮瞥町重機格納庫	228.16	1991	31	29

2. 本計画の組み立て

各公共施設の方針に記載している各項目の見方は以下のとおりとなります。

(1) 施設別状況

■構造

R C	鉄筋コンクリート造
S R C	鉄筋鉄骨コンクリート造
S	鉄骨造
C B	コンクリートブロック造
W	木造
PC	プレキャストコンクリート

個々の施設において、取得年度と耐用年数による更新時期を明記しています。

●耐震（診断/補強）

新耐震基準に適合しているかを示した指標。

1981年（昭和56年）以前に建築した建物については、基準欄に「○」、診断実施の有無と耐震が不足する場合は補強の有無を示しています。

1982年（昭和57年）以後に建築した建物は、新耐震基準に適合しているため診断及び補強は「一」と記載しています。

●躯体性能・劣化度状況評価

- A：特に措置を要しない
- B：軽微な対応を要する。または引き続き観察を続ける
- C：精密調査を要する
- D：補修改善を要する

(2) 主要施設の役割

主要な施設の機能や役割について記載しています。

(3) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

施設の過去4年間の平均利用状況や維持管理コストについて記載しています。

（４）再取得・長寿命化コストの試算

既に事業計画等により 詳細な算定根拠がある場合はその額を記載しておりますが、算出根拠が明らかでない施設については、以下の延床面積 1 ㎡単価の算定基準により算出しています。

■更新、大規模改修

施設分類	更新（建替え）	大規模改修
行政施設、社会教育施設、産業・観光施設	40 万円／㎡	25 万円／㎡
保健福祉施設、レクリエーション施設、 防災関連施設、環境衛生施設	36 万円／㎡	20 万円／㎡

（総務省の公共施設等更新費用試算ソフトから）

（５）施設更新の具体的な方向性・対策

今後の各施設の方向性、対策（建替、大規模改修・長寿命化、維持、除却等）を記載しています。
また、検討案件については、本計画期間中に施設活用方針や整備方針を再検討することとしています。

3. 行政施設の方針

(1) 施設別状況

No.	施設名	構造	取得年度	耐用年数	経過年数	更新時期	耐震		躯体	劣化状況評価		
							基準	診断		屋根	外壁	内装
1	役場庁舎（信金棟を含む）	SRC	2008	50	13	2058	不要	不要	A	A	A	A

(2) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

No.	施設名	直近4年間平均施設利用状況（単位：人）	直近4年間平均施設維持管理コスト（単位：円）
1	役場庁舎（信金棟を含む）	—	13,832,984

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

No.	施設名	構造	面積	取得年度	取得価格（千円/㎡）	再取得価格（千円）	長寿命化単価（千円/㎡）	長寿命化費用（千円）
1	役場庁舎 （信金棟を含む）	SRC	1,767.35	2008	400	706,940	250	441,838

(4) 施設更新の具体的な方向性・対策

No.	施 設 名	更新の 方向性	年 度										対 策 等
			2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	
1	役場庁舎 (信金棟を含む)	現状 維持											2008 年に取得し 2058 年に 更新年度を迎えます。予防 保全的な修繕を施し長寿命 化を図ります。

4. 保健福祉施設の方針

(1) 施設別状況

No.	施設名	構造	取得年度	耐用年数	経過年数	更新時期	耐震		躯体	劣化状況評価		
							基準	診断		屋根	外壁	内装
2	歯科診療所・壮瞥町保健センター	RC	1997	50	24	2047	不要	不要	A	A	A	B
3	そうべつ子どもセンター	RC	2009	47	12	2056	不要	不要	A	B	A	B
4	旧久保内保育所	S	1969	34	52	2003	未実施	未実施	C	B	B	D
5	福祉交流センター（訓練室）	S	1971	34	50	2005	未実施	未実施	C	C	C	D

(2) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

No.	施設名	直近4年間平均施設利用状況（単位：人）	直近4年間平均施設維持管理コスト（単位：円）
2	歯科診療所・壮瞥町保健センター	5,250	14,516,713
3	そうべつ子どもセンター	—	22,200,785
4	旧久保内保育所	—	—
5	福祉交流センター（訓練室）	1,669	7,517,550

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

No.	施設名	構造	面積	取得年度	取得価格（千円/㎡）	再取得価格（千円）	長寿命化単価（千円/㎡）	長寿命化費用（千円）
2	歯科診療所・壮瞥町保健センター	RC	968.70	1997	360	348,732	200	193,740
3	そうべつ子どもセンター	RC	1,482.27	2009	360	533,617	200	296,454
4	旧久保内保育所	S	500.98	1969	360	180,353	200	100,196
5	福祉交流センター（訓練室）	S	774.25	1971	360	278,730	200	154,850

(4) 施設更新の具体的な方向性・対策

No.	施設名	更新の方向性	年 度										対 策 等
			2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	
2	歯科診療所・壮瞥町保健センター	現状維持											1997 年に取得し 2047 年に更新年度を迎えます。予防保全的な修繕を施し、長寿命化を図ります。
3	そうべつ子どもセンター	現状維持											2009 年度に取得し 2056 年度に更新年度を迎えます。予防保全的な修繕を施しながら長寿命化を図ります。
4	旧久保内保育所	民間譲渡 転用 除却											1969 年度に取得し 2003 年度に更新年度を迎えています。現在使用していないことから、除却等も含め検討します。
5	福祉交流センター（訓練室）	現状維持											1971 年度に取得し 2005 年に更新年度を迎えています。必要な修繕を施しながら維持管理を行います。

5. 社会教育施設の方針

(1) 施設別状況

No.	施設名	構造	取得年度	耐用年数	経過年数	更新時期	耐震		躯体	劣化状況評価		
							基準	診断		屋根	外壁	内装
6	壮瞥町地域交流センター	RC	2008	47	13	2055	不要	不要	A	A	A	A
7	遊学館	W	1968	47	53	2015	未実施	未実施	B	C	B	B
8	壮瞥町青少年会館	S	1970	34	51	2004	未実施	未実施	B	B	B	B
9	紫明苑	W	1967	22	54	1989	未実施	未実施	B	B	B	B
10	仲洞爺公民館	W	1979	24	42	2003	未実施	未実施	B	B	B	B
11	壮瞥町図書分室	RC	1970	50	51	2020	未実施	未実施	B	B	B	B
12	壮瞥町民プール更衣室	W	1998	22	23	2020	不要	不要	B	B	B	B

(2) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

No.	施設名	直近4年間平均施設利用状況 (単位: 人)	直近4年間平均施設維持管理コスト (単位: 円)
6	壮瞥町地域交流センター	13,118	4,757,260
7	遊学館	4,103	890,031
8	壮瞥町青少年会館	1,499	363,140
9	紫明苑	—	25,293
10	仲洞爺公民館	—	24,465
11	壮瞥町図書分室	410	55,886
12	壮瞥町民プール更衣室	1,639	15,886

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

No.	施設名	構造	面積	取得年度	取得価格 (千円/㎡)	再取得価格 (千円)	長寿命化単価 (千円/㎡)	長寿命化費用 (千円)
6	壮瞥町地域交流センター	RC	1,992.91	2008	400	797,164	250	498,228
7	遊学館	W	662.42	1968	400	264,968	250	165,605
8	壮瞥町青少年会館	S	700.99	1970	400	280,396	250	175,248
9	紫明苑	W	75.20	1967	400	30,080	250	18,800
10	仲洞爺公民館	W	118.18	1979	400	47,272	250	29,545
11	壮瞥町図書分室	RC	455.85	1970	400	182,340	250	113,963
12	壮瞥町民プール更衣室	W	37.22	1998	400	14,888	250	9,305

(4) 施設更新の具体的な方向性・対策

No.	施設名	更新の方向性	年 度										対 策 等
			2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	
6	壮瞥町地域交流センター	現状維持											2008 年度に取得し 2055 年度に更新年度を迎えます。予防保全的な修繕を施し長寿命化を図ります。
7	遊学館	現状維持											1968 年度に取得し 2015 年度に更新年度を迎えています。予防保全的な修繕を施し長寿命化を図ります。
8	壮瞥町青少年会館	現状維持											1970 年度に取得し 2004 年度に更新年度を迎えています。予防保全的な修繕を施し長寿命化を図ります。
9	紫明苑	現状維持											1967 年度に取得し 1989 年度に更新年度を迎えています。予防保全的な修繕を施し長寿命化を図ります。
10	仲洞爺公民館	現状維持											1979 年に取得し 2003 年度に更新年度を迎えています。適切な維持管理を行います。
11	壮瞥町図書分室	現状維持											1970 年度に取得し 2020 年度に更新年度を迎えています。予防保全的な修繕を施し長寿命化を図ります。
12	壮瞥町民プール更衣室	現状維持											1998 年度に取得し 2020 年度に更新年度を迎えています。予防保全的な修繕を施し長寿命化を図ります。

6. 産業・観光施設の方針

(1) 施設別状況

No.	施設名	構造	取得年度	耐用年数	経過年数	更新時期	耐震		躯体	劣化状況評価		
							基準	診断		屋根	外壁	内装
13	そうべつ情報館 (消防庁舎を含む)	RC	2007	50	14	2057	不要	不要	A	A	A	A
14	立香牧場	W	1975	24	46	1999	未実施	未実施	B	B	B	B
15	幸内ハウス団地管理棟	LGS	1978	38	43	2016	未実施	未実施	B	B	B	B
16	上久保内牧場	S	1985	38	36	2023	不要	不要	B	B	B	B
17	昭和新山トイレ(熊牧場)	W	1991	34	30	2025	不要	不要	A	A	A	A

(2) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

No.	施設名	直近4年間平均施設 利用状況(単位:人)	直近4年間平均施設維持 管理コスト(単位:円)
13	そうべつ情報館 (消防庁舎を含む)	330,892	13,546,260
14	立香牧場	1	1,287,935
15	幸内ハウス団地管理棟	-	11,880
16	上久保内牧場	7	1,396,599
17	昭和新山トイレ (熊牧場)	-	911,499

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

No.	施設名	構造	面積	取得年度	取得価格 (千円/㎡)	再取得価格 (千円)	長寿命化単価 (千円/㎡)	長寿命化費用 (千円)
13	そうべつ情報館 (消防庁舎を含む)	RC	1,453.78	2007	400	581,512	250	363,445
14	立香牧場	W	54.54	1975	400	21,816	250	13,635
15	幸内ハウス団地管理棟	LGS	99.17	1978	400	39,668	250	24,793
16	上久保内牧場	S	49.58	1985	400	19,832	250	12,395
17	昭和新山トイレ (熊牧場)	W	71.92	1991	400	28,768	250	17,980

(4) 施設更新の具体的な方向性・対策

No.	施設名	更新の方向性	年 度										対 策 等
			2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	
13	そうべつ情報館 (消防庁舎を含む)	多機能化											2007 年度に取得し 2057 年度に更新年度を迎えます。当面は適切な修繕を計画的に行い、長寿命化をはかります。
14	立香牧場	検討											1975 年度に取得し 1999 年度に更新年度を迎えています。馬飼養者の利用状況を踏まえ、運営の継続について検討いたします。
15	幸内ハウス団地管理棟	現状維持											1978 年度に取得し 2016 年度に更新年度を迎えています。予防保全的な修繕を施し長寿命化を図ります。
16	上久保内牧場	現状維持											1985 年度に取得し 2023 年度に更新年度を迎えます。予防保全的な修繕を施し長寿命化を図ります。
17	昭和新山トイレ (熊牧場)	現状維持											1991 年度に取得し 2025 年度に更新年度を迎えます。更新年度に再評価し、更新可否を検討します。

7. レクリエーション施設の方針

(1) 施設別状況

No.	施設名	構造	取得年度	耐用年数	経過年数	更新時期	耐震		躯体	劣化状況評価		
							基準	診断		屋根	外壁	内装
18	農村環境改善センター	RC	1992	47	29	2039	不要	不要	B	B	B	B
19	仲洞爺キャンプ場	W	1998	24	23	2022	不要	不要	B	B	B	B
20	立香ふれあいセンター	S	1989	34	32	2023	不要	不要	B	C	B	B
21	ゆーあいの家	RC	1989	47	32	2036	不要	不要	B	B	B	B
22	蟠溪ふれあいセンター	W	1991	15	30	2006	不要	不要	B	B	B	B
23	研修センター	W	1991	15	30	2006	不要	不要	B	C	B	B
24	久保内ふれあいセンター	RC	1992	22	29	2014	不要	不要	B	B	B	B
25	森と木の里センター	W	1993	15	28	2008	不要	不要	B	B	B	B
26	壮瞥町郷土史料館横綱北の湖記念館	S	1990	38	31	2028	不要	不要	B	B	B	B
27	滝之町小公園トイレ	RC	1997	38	24	2035	不要	不要	B	A	A	B
28	弁景地域間交流拠点施設	RC	2002	13	19	2015	不要	不要	B	B	B	B
29	久保内公衆トイレ	RC	1988	34	33	2022	不要	不要	A	A	B	B
30	健康広場トイレ	PC	2009	38	12	2047	不要	不要	A	A	A	A

(2) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

No.	施設名	直近4年間平均施設利用状況(単位:人)	直近4年間平均施設維持管理コスト(単位:円)
18	農村環境改善センター	—	1,253,651
19	仲洞爺キャンプ場	24,943	4,936,705
20	立香ふれあいセンター	324	530,343
21	ゆーあいの家	5,989	1,832,783
22	蟠溪ふれあいセンター	3,991	2,880,952
23	研修センター	187	964,008
24	久保内ふれあいセンター	14,290	3,005,199
25	森と木の里センター	1,392	3,124,664
26	壮瞥町郷土史料館横綱北の湖記念館	6,054	5,626,466
27	滝之町小公園トイレ	—	448,318
28	弁景地域間交流拠点施設	41,215	6,214,517
29	久保内公衆トイレ	—	375,007
30	健康広場トイレ	—	40,120

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

No.	施設名	構造	面積	取得年度	取得価格 (千円/㎡)	再取得価格 (千円)	長寿命化単価 (千円/㎡)	長寿命化費用 (千円)
18	農村環境改善センター	RC	971.79	1992	360	349,844	200	194,358
19	仲洞爺キャンプ場	W	573.64	1998	360	206,510	200	114,728
20	立香ふれあいセンター	S	473.38	1989	360	170,417	200	94,676
21	ゆーあいの家	RC	796.96	1989	360	286,906	200	159,392
22	蟠溪ふれあいセンター	W	498.98	1991	360	179,633	200	99,796
23	研修センター	W	492.48	1991	360	177,293	200	98,496
24	久保内ふれあいセンター	RC	246.89	1992	360	88,880	200	49,378
25	森と木の里センター	W	504.55	1993	360	181,638	200	100,910
26	壮瞥町郷土史料館横綱北の湖記念館	S	871.76	1990	360	313,834	200	174,352
27	滝之町小公園トイレ	RC	16.10	1997	360	5,796	200	3,220
28	弁景地域間交流拠点施設	RC	872.08	2002	360	313,949	200	174,416
29	久保内公衆トイレ	RC	23.92	1988	360	8,611	200	4,784
30	健康広場トイレ	PC	7.99	2009	360	2,876	200	1,598

(4) 施設更新の具体的な方向性・対策

No.	施設名	更新の方向性	年 度										対 策 等
			2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	
18	農村環境改善センター	現状維持											1992 年度に取得し 2039 年度に更新年度を迎えます。予防保全を施し長寿命化を図ります。
19	仲洞爺キャンプ場	現状維持	仲洞爺野営場便所建替 37,000 千円										1998 年度に取得し 2022 年度に更新年度を迎えます。2021 年度に仲洞爺野営場管理棟整備工事 14,000 千円及び仲洞爺野営場便所建替工事設計部 3,000 千円、2022 年度仲洞爺野営場便所建替工事 37,000 千円を予定しています。その他附随施設については予防保全を施し長寿命化を図ります。
20	立香ふれあいセンター	現状維持											1989 年度に取得し 2023 年度に更新年度を迎えます。予防保全を施し長寿命化を図ります。
21	ゆーあいの家	現状維持											1989 年度に取得し 2036 年度に更新年度を迎えます。予防保全を施し長寿命化を図ります。
22	蟠溪ふれあいセンター	現状維持											1991 年度に取得し 2006 年度に更新年度を迎えています。予防保全を施し長寿命化を図ります。
23	研修センター	現状維持											1991 年度に取得し 2006 年度に更新年度を迎えています。予防保全を施し長寿命化を図ります。
24	久保内ふれあいセンター	現状維持											1992 年度に取得し 2014 年度に更新年度を迎えています。予防保全を施し長寿命化を図ります。
25	森と木の里センター	現状維持											1993 年度に取得し 2008 年度に更新年度を迎えています。予防保全を施し長寿命化を図ります。
26	壮瞥町郷土史料館横綱北の湖記念館	現状維持											1990 年度に取得し 2028 年度に更新年度を迎えます。予防保全を施し長寿命化を図ります。

No.	施 設 名	更新の 方向性	年 度										対 策 等
			2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	
27	滝之町小公園 トイレ	現状 維持											1997 年度に取得し 2035 年度に更新年度を迎えます。利用需要などを適切に見極め、管理を継続していきます。大規模改修が必要となった場合、施設の維持の是非を含め検討します。
28	弁景地域間交流 拠点施設	現状 維持											2002 年度に取得し 2015 年度に更新年度を迎えています。修繕を計画的に行い長寿命化を図ります。
29	久保内公衆 トイレ	現状 維持											1988 年度に取得し 2022 年度に更新年度を迎えます、利用需要などを適切に見極め、管理を継続していきます。大規模改修が必要となった場合、施設の維持の是非を含め検討します。
30	健康広場トイレ	現状 維持											2009 年度に取得し 2047 年度に更新年度を迎えます。予防保全を施し長寿命化を図ります。

8. 公営住宅の方針

(1) 施設別状況

No.	施設名	構造	取得年度	耐用年数	経過年数	更新時期	耐震		躯体	劣化状況評価		
							基準	診断		屋根	外壁	内装
31	町有住宅（滝之町地区）	W	1966～2015	34	55	1988～2037	未実施	未実施	B	B	B	B
32	町有住宅（久保内地区）	W	1972～1993	22	49	1994～2015	未実施	未実施	B	B	B	B

(2) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

No.	施設名	直近4年間平均施設利用状況（単位：人）	直近4年間平均施設維持管理コスト（単位：円）
31	町有住宅（滝之町地区）	—	573,066
32	町有住宅（久保内地区）	—	622,298

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

No.	施設名	構造	面積	取得年度	取得価格（千円/㎡）	再取得価格（千円）	長寿命化単価（千円/㎡）	長寿命化費用（千円）
31	町有住宅（滝之町地区）	W	1,137.56	1988～2037	280	318,517	170	193,385
32	町有住宅（久保内地区）	W	1,275.28	1994～2015	280	357,078	170	216,798

(4) 施設更新の具体的な方向性・対策

No.	施 設 名	更新の 方向性	年 度										対 策 等
			2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	
31	町有住宅 (滝之町地区)	現状 維持											随時、修繕を行いながら現状 維持します。
32	町有住宅 (久保内地区)	現状 維持											随時、修繕を行いながら現状 維持します。

9. 防災関連施設の方針

(1) 施設別状況

No.	施設名	構造	取得年度	耐用年数	経過年数	更新時期	耐震		躯体	劣化状況評価		
							基準	診断		屋根	外壁	内装
33	防災備蓄センター	S	2000	31	21	2031	不要	不要	B	B	B	B

(2) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

No.	施設名	直近4年間平均施設利用状況（単位：人）	直近4年間平均施設維持管理コスト（単位：円）
33	防災備蓄センター	—	16,406

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

No.	施設名	構造	面積	取得年度	取得価格（千円/㎡）	再取得価格（千円）	長寿命化単価（千円/㎡）	長寿命化費用（千円）
33	防災備蓄センター	S	640.00	2000	360	230,400	200	128,000

(4) 施設更新の具体的な方向性・対策

No.	施設名	更新の方向性	年 度										対 策 等
			2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	
33	防災備蓄センター	現状維持											2000年度に取得し2031年度に更新年度を迎えます。予防保守を施し長寿命化を図ります。

10. 環境衛生施設の方針

(1) 施設別状況

No.	施設名	構造	取得年度	耐用年数	経過年数	更新時期	耐震		躯体	劣化状況評価		
							基準	診断		屋根	外壁	内装
34	壮瞥町火葬場	RC	1969	50	52	2019	未実施	未実施	C	C	C	C
35	堆肥センター	S	2004	31	17	2035	不要	不要	B	B	B	B

(2) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

No.	施設名	直近4年間平均施設利用状況 (単位:人)	直近4年間平均施設維持管理コスト (単位:円)
34	壮瞥町火葬場	21	309,146
35	堆肥センター	—	—

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

No.	施設名	構造	面積	取得年度	取得価格 (千円/㎡)	再取得価格 (千円)	長寿命化単価 (千円/㎡)	長寿命化費用 (千円)
34	壮瞥町火葬場	RC	73.96	1969	360	26,626	200	14,792
35	堆肥センター	S	2,382.60	2004	360	857,736	200	476,520

(4) 施設更新の具体的な方向性・対策

No.	施 設 名	更新 の 方向 性	年 度									対 策 等	
			2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030		2031
34	壮瞥町火葬場	除却		除却 3,300 千円 火葬場 火葬炉 設備解 体工事 3,950 千円									1969 年度に取得し 2019 年度に更新年度を迎えています。建物の老朽化が進み（築 50 年以上経過）、利用状況も減少傾向にあり、2023 年度除却工事 3,300 千円、火葬場火葬炉設備解体工事 3,950 千円を予定しています。
35	堆肥センター	現状 維持											2004 年度に取得し 2035 年度に更新年度を迎えます。予防保守を施し長寿命化を図ります。

11. その他施設の方針

(1) 施設別状況

No.	施設名	構造	取得年度	耐用年数	経過年数	更新時期	耐震		躯体	劣化状況評価		
							基準	診断		屋根	外壁	内装
36	壮瞥町農業研修シェアハウス	W	1989	24	32	2013	不要	不要	A	A	A	A
37	地デジ局舎	S	2010	38	11	2048	不要	不要	A	A	A	A
38	壮瞥町重機格納庫	S	1991	31	30	2022	不要	不要	B	B	B	B

(2) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

No.	施設名	直近4年間平均施設利用状況(単位:人)	直近4年間平均施設維持管理コスト(単位:円)
36	壮瞥町農業研修シェアハウス	4	163,048
37	地デジ局舎	—	1,177,301
38	壮瞥町重機格納庫	—	96,206

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

No.	施設名	構造	面積	取得年度	取得価格(千円/㎡)	再取得価格(千円)	長寿命化単価(千円/㎡)	長寿命化費用(千円)
36	壮瞥町農業研修シェアハウス	W	331.29	1989	360	119,264	200	66,258
37	地デジ局舎	S	27.00	2010	360	9,720	200	5,400
38	壮瞥町重機格納庫	S	228.16	1991	360	82,138	200	45,632

(4) 施設更新の具体的な方向性・対策

No.	施 設 名	更新 の 方向 性	年 度									対 策 等
			2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
36	壮瞥町農業研修 シェアハウス	現状 維持										1989 年度に取得し 2013 年度 に更新年度を迎えます。予防保 守を施し長寿命化を図ります。
37	地デジ局舎	現状 維持										2010 年度に取得し 2048 年度 に更新年度を迎えます。予防保 守を施し長寿命化を図ります。
38	壮瞥町 重機格納庫	現状 維持										1991 年度に取得し 2022 年度 に更新年度を迎えます。必要箇 所の修繕等を行いながら現状 を維持します。

1. 10年後に実現する壮瞥町の姿

本計画の推進により、財政の維持・安定化を図りながら、最適な公共施設のサービス利用を図り、本計画の基本方針である「持続可能なまちづくりの実現」を目指します。

● 公共施設等マネジメント推進

- ・施設所管課との横断的な連携を図り、公共施設等に対して一元管理・連携体制を構築
- ・町民ニーズの把握と公共施設の適正配置
- ・良質な施設サービス提供の維持

● 総合的かつ計画的な管理の実現

- ・更新費用の圧縮による歳出の軽減・平準化
- ・基金の確保や良質な地方債の活用による財源確保
- ・将来的な財政安定化の維持

厳しい財政状況下で、人口減少・少子高齢化が進展する将来を見据えると、税収が減少する一方で、人口構造の変化に伴う社会保障費や扶助費等の増大が見込まれ、ますます財政状況が厳しくなるなか、公共施設等の老朽化は進み、施設の更新需要が高まってきます。

限られた財源のなか、持続可能なまちづくりを実現しつつ、町民ニーズに対応した公共施設利用のサービス提供を維持するため、平成 29 年 3 月には、「壮瞥町公共施設等総合管理計画」を策定し、基本方針、数値目標を定めました。

今後、総合管理計画に基づき、各公共施設にかかるコストと利用状況の両面から各施設の課題を抽出したうえで、公共施設の質と量の最適配置や長寿命化等の公共施設マネジメントを推し進めるため、個々の施設の具体的な方向性を示した本計画により、持続可能な街づくりを目指していきます。

また、部局横断的な施設の適正管理を検討する場として、既存の庁内会議（課長職会議）を活用し、全庁的な推進体制の整備を図るとともに公共施設の一元管理や計画の進行管理、方針の見直しを行っていきます。

今後、当町では財源が限られる中で、いかに住民サービスの量や質を落とさず、施設の長寿命化や最適配置という大きな課題に取り組んでいきますが、財政が厳しいからこそ、官民連携や知恵や工夫により、公共施設マネジメントを推進し、総合的かつ計画的な施設管理を図っていきます。

2. 主要施設の方針

① 行政施設の方針

役場庁舎については、2008（平成 20）年に新たに建築してから、まだ 10 年強の経過であり、建築の際に地域交流センター等の施設と複合化を実施しています。

今後は、年間の維持管理費の圧縮に努めつつ、長寿命化等の措置をとるなど、より長く施設を維持する方法を検討します。

② 保健福祉施設の方針

保健福祉施設においては、現在の施設を長寿命化するなどの措置で長持ちさせるほか、他の施設の改修や転用によって、新たな施設を効率よく整備する方策を検討します。

③ 社会教育施設の方針

社会教育施設は、更新時期にばらつきはありますが、建築規模の大きいものが多く、利用状況や維持管理費を考慮して更新後の方針を検討する必要があります。更新の際には、複合化できる施設を整理し、建物の共用部分にかかる費用等の圧縮を図ります。ただし、利用者の利便性等も考慮し、場合によっては再配置なども検討します。

④ 産業・観光施設の方針

役場庁舎と同時期に建設されたそうべつ情報館は、様々な機能を内包した複合施設です。庁舎などと同様に、維持管理費の削減と長寿命化等の措置により、効率的な施設運用に努めます。

⑤ レクリエーション施設の方針

レクリエーション施設については、年間の維持管理費の圧縮に努めつつ、利用状況や収益状況等を踏まえ、必要に応じて運営方法や利用料金の見直しなどを検討するとともに、長寿命化等の措置により、施設の効率的な運営に努めます。

⑥ 公営住宅の方針

公営住宅のうち、本計画で対象としている町有住宅については、現状維持の方針としつつ、維持管理費の削減と長寿命化等により、施設の効率的な運営に努めます。

⑦ 防災関連施設、環境衛生施設の方針

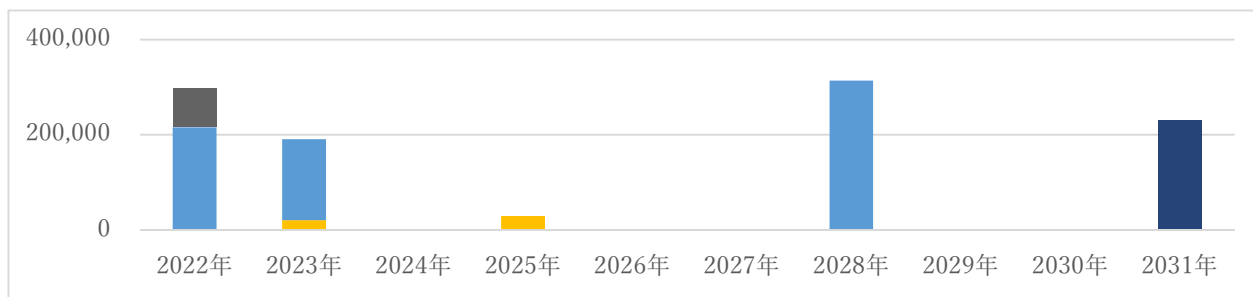
これらの施設は、町民の安心・安全な生活基盤を支える施設であるため、インフラ系施設と同様、現状維持の方針としつつ、維持管理費の削減と長寿命化等による施設の効率的な運営に努めます。

⑧ その他施設の方針

既に用途廃止となっている施設や転用の目処がない古い施設については、解体・撤去を検討します。その他の施設については、年間の維持管理費用の圧縮に努めつつ、適切な規模での更新を検討します。

3. 個別施設計画の達成による財政効果

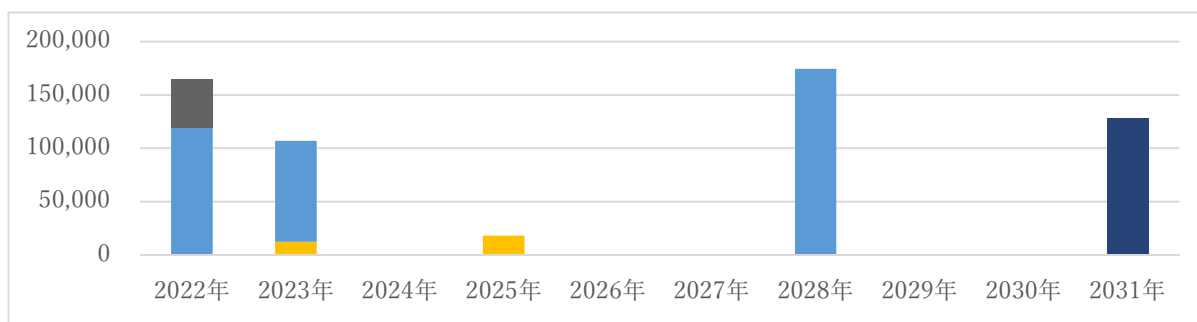
本計画の方針を実施した場合、個別施設計画の財政効果は以下のとおり、今後 10 年間で更新期を迎えるすべての施設を建替えした場合に比べ、維持、長寿命化、除却などにより一定程度の財政効果は見込めますが、今後も、施設の適正配置、統廃合などの検討をすすめていく必要があります。



【単純更新費用】

(単位：千円)

	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	2027 年	2028 年	2029 年	2030 年	2031 年	合計
行政施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保健福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会教育施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業・観光施設	0	19,832	0	28,768	0	0	0	0	0	0	48,600
レクリエーション施設	215,122	170,417	0	0	0	0	313,834	0	0	0	699,372
公営住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
防災関連施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	230,400	230,400
環境衛生施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の施設	82,138	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82,138
合計	297,259	190,249	0	28,768	0	0	313,834	0	0	230,400	1,060,510



【計画反映後の費用】

(単位：千円)

	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	2027 年	2028 年	2029 年	2030 年	2031 年	合計	削減額
行政施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保健福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会教育施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業・観光施設	0	12,395	0	17,980	0	0	0	0	0	0	30,375	-18,225
レクリエーション施設	119,512	94,676	0	0	0	0	174,352	0	0	0	388,540	-310,832
公営住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
防災関連施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	128,000	128,000	-102,400
環境衛生施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の施設	45,632	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45,632	-36,506
合計	165,144	107,071	0	17,980	0	0	174,352	0	0	128,000	592,547	-467,963

※維持、検討、長寿命化は大規模改修単価を採用し、建替えは建替単価、廃止を 0 円で計算

4. 本計画の推進体制

(1) 推進方針

今後、総合管理計画の方針や本計画における各施設の方向性に基づき、個別施設ごとに具体的な取り組みを行います。事務的な整理や整備手法などの検討し、具体的な対策の実施にあたっては、対象施設に関連する町民・施設利用者・関係団体等との協議を行い、十分な調整と合意形成を図りながら進めます。

また、長寿命化や複合化、予防・維持保全の推進を行う施設については、それぞれ修繕（改修）計画を策定し、実際の事業実施に際しては、財政状況との整合性を図り財政負担の軽減・平準化を図ります。

なお、対策（方向性）が「維持」「検討」となっている施設においても、建物の残寿命が短いものや社会情勢、町民ニーズの変化により施設の在り方を考慮するものについては、今後、計画の見直しや次期策定時において対策(方向性)を検討します。

(2) 推進体制

本計画に記載している対策については、各公共施設の所管課を中心として実施しますが、公共施設の統廃合や多機能化等、施設の再編については、長期的な展望を見極めながらその方向性について、全庁的な連携を図り取り進めます。

壮瞥町個別施設計画

令和 3 年 11 月発行

〒052-0101 北海道有珠郡壮瞥町滝之町 287-7

【企画財政課】

Tel 0142-66-2121

Fax 0142-66-7001